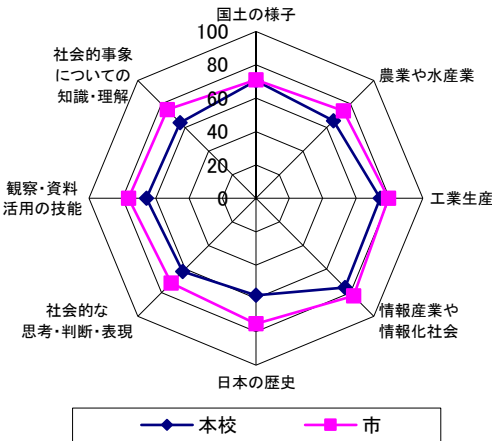


宇都宮市立富屋小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	70.5	71.0	69.4
	農業や水産業	65.7	74.0	69.0
	工業生産	74.4	79.4	75.4
	情報産業や情報化社会	75.6	82.8	88.7
	日本の歴史	58.1	75.2	72.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	62.0	71.9	67.2
	観察・資料活用技能	65.6	76.3	70.7
	社会的事象についての知識・理解	64.1	75.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。  
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	領域の平均正答率は、市の平均とほぼ同じだった。 ○「国土の主な山脈・川・平野の名称」については、市の平均を約14ポイント上回った。 ●「公害について理解している」については、市の平均正答率をやや下回った。	・日本の国土について、名称だけでなく、公害や災害と地理的位置関係について理解を深めさせたい。
農業や水産業	領域の平均正答率は、市の平均を下回った。 ●「日本が食料確保においてかかえる問題について、資料を読み取って考えること」について、正答率が低く、市の平均をやや下回った。	・5学年の学習内容であるが、農業や水産業について定着までもう少しといったところである。日本の食糧生産や世界との関係などについて更に理解を深めることができるよう、プリント等で復習させたり、家庭学習を推奨して定着を図ったりしたい。
工業生産	領域の平均正答率は市の平均をやや下回った。 ●「工業製品を、工業の種類別に分類・整理すること」や「工業生産に従事している人々による、環境保全への工夫や努力について考えること」について、市の平均をやや下回った。	・5学年の学習内容であるが、工業生産について定着までもう少しといったところである。日本の工業生産や世界との関係などについて更に理解を深めることができるよう、チャレンジ学習や自主学習の時間を活用して復習させたい。
情報産業や情報化社会	領域の平均正答率は市の平均を下回った。 ○「テレビやラジオ、新聞などの情報手段について理解している」について、市の平均をやや下回ったが正答率は90%を超えた。 ●情報ネットワークについて資料を読み取って考える設問では、市の平均を下回った。	・現代の情報化社会において、情報やネットワークについて正しく理解することは必要である。社会科の復習だけでなく、総合的な学習の時間、道徳など機会を捉えて情報や情報の読み取りについて考える活動を取り入れたい。
日本の歴史	領域の平均正答率は市の平均を大きく下回った。 ●どの時代においても、資料を読み取って考える設問では市の平均を下回った。 ●明治・大正時代の歴史の流れや政治について、市の平均を大きく下回り、正答率も低かった。	・資料を読み取ることは普通の授業でも行っているが、そこから自分の考えをもつことや考えを表現することが必要である。資料を正確に読み取るとともに、考えを言葉や図、表などに表す活動も取り入れたい。 ・日本国内だけでなく、外国とのかかわりの中で変化していく近代日本について、復習する活動を取り入れたい。